

広尾防災公園は、平成22年4月の開園を目指して、近隣の皆様のご協力を得ながら工事を進めています。現場は安全面や環境面に配慮して柵を設けているため、普段はなかなか現場の様子が分からないので、この「現場だより」を通じて工事の進捗情報等について皆様にお伝えします。

## ☆公園整備工事に着手しました！



平成19年度から本格着工した広尾防災公園整備事業ですが、平成22年4月開園に向けて、いよいよ工事ラストイヤーとなりました。

本事業を締め括るのが、「広尾防災公園整備工事」で、皆様が公園に遊びに来たときに目にする物、例えば植栽、園路、遊具等は、建築物以外は全てこの工事で整備します。

その取り掛かりとして、昨年度までの大規模な敷地造成を成形するため、右の写真のような擁壁を作っています。

上の写真のように、大きなレイアウトは出来ていますが、より精度の高いレイアウトは、以後の工事をスムーズに進めます。

少しずつ形が出来上がってきますので、楽しみにして下さいね。



## ☆電気設備工事も頑張っています



電気がなければ生活が出来ないほど、重要なライフラインとなっていますが、広尾防災公園においても然り。

親水設備、駐車場、公園灯だけでなく、災害時に活躍する非常用自家発電・・・それらの設備に電気を供給する電線管の布設を行っています。

工事が終われば地面に埋まってしまい、ハンドホールの铸铁蓋しか見えなくなるという、影の功労者達です。

左の写真に見える黒い管は、電線を保護するための管です。とてもたくさんありますが、設備や供給する電力によって、何種類も使い分けています。

何かあっても断線しないよう、管は柔軟性をもっています。この管は、まるで人の血管のように、公園の中をグルグルと張り巡らされ、何と延べ約7kmにも及びます。

## ☆排水設備を作っています



前号では、広尾防災公園内に設置した「雨水貯留槽」についてお知らせしました。

あの4,600立方メートルもの雨水を貯めるには、そこまで導く設備が必要です。

道路で見かける「U字溝」です。広尾防災公園は、土壤汚染対策工事で特殊なシートを布設しているため、雨水が地下に浸透しません。そこで、降った雨水を効率的に流すため、設置場所や管の大きさを綿密に計算しています。

また、園路の舗装をしていないため、U字溝だけ目立ってしまいますが、このラインで園路が整備されるとイメージが高まりますね。

皆さんが遊びに来た際には、U字溝の蓋に物を落とさないように十分気をつけて下さいね。

こちらも前号でご紹介した非常用トイレです。蓋が付いたので、実際に使用する時のイメージが付きやすくなりました。

もちろん、本当に使うときには見えないようにテントを設置しますので、安心して下さいね。

避難してきた13,000人分の68穴ありますが、使う日が来ないで欲しいものです…



## ☆緊急用船着場の整備の一部が始まりました！



広尾防災公園は、近くの大きな道路を利用した「陸路」、大きな広場を利用した「空路」だけではありません。

すぐ近くには一級河川旧江戸川があります。災害時には、この「水運」を利用することも考慮して、河川管理者である千葉県に緊急用船着場の整備を要望してきました。

千葉県では、市の要望を受けて、昨年度末から船着場の整備の一環として、堤防の盛土工事を行いました。

今後は川側の工事を順次行っていくことになっています。

旧江戸川を散歩されている方は御存知と思いますが、堤防を盛土したことにより、見晴らしが良くなりました。

このように、関係機関とも連携し、より良い公園を作っています。

※今までは、地下構造物や敷地造成等の工事でしたので、「現場だより」に掲載する程の“ネタ”ではありませんが、これからは日々、現場に色が付いてきますので、私どもも頑張って「現場だより」を通じて皆様にお知らせしたいと思っています。工事中は、近隣の方々には大変ご迷惑をおかけしておりますが、本事業へのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。